

IR Report



株式会社SmartEbook.com

第15期 報告書

2014.1.1 – 2014.12.31

株主の皆様へ／TOP MESSAGE

株主の皆様には平素より格別のご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気は回復の兆しが見られるものの消費税増税は個人消費等に弱い動きも見られました。また、海外の新興国の成長鈍化などの不安定要素もあり、景気の見通しは先行き不透明な状態で推移いたしました。

このような経済状況のもと、2014年度、当社グループでは、安定的且つ持続可能な業容拡大を図る為、2014年度の最重要課題として、今後の再成長に向けた経営基盤の整備を実行する事を掲げて参りました。

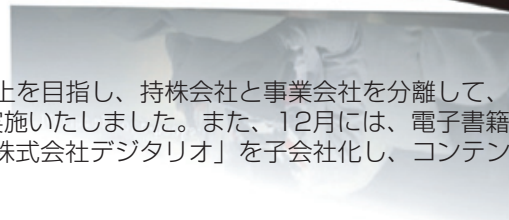
国内事業に経営資源を集約し、電子書籍を中心としたコンテンツ事業の促進と、大幅なリストラクチャリングを実行いたしました。更に、今後の事業再成長及び企業価値向上を目指し、持株会社と事業会社を分離して、新規事業及びM&Aによる事業拡張を円滑に行えるよう、企業再編も実施いたしました。また、12月には、電子書籍と親和性が高い「クラウド及びITソリューション事業」を手掛ける「株式会社デジタリオ」を子会社化し、コンテンツ事業の拡張と共に、新たな事業ポートフォリオも構築いたしました。

来期につきましては、再構築した経営基盤を最大限活用し、事業再成長及び企業価値向上を目指して参ります。2015年1月にはM&Aを活用した業容拡大を促進する為に、投資銀行部を創設し、更に「GMOペイメントゲートウェイ株式会社」との業務提携にて、クレジット決済代行業務を担う「株式会社フォーサイドペイメントゲートウェイ」を子会社として新設いたしました。また、当社グループ子会社の株式会社デジタリオでは、スマートコミュニティー関連事業への拡張を図り、協業パートナーとの連携によって、大手コンビニエンスストアの「電力、温度管理」を担う、ICTソリューションの受注を開始する事ができました。当社グループ子会社の株式会社フォーサイドブックでは、電子書籍サイトの大幅なリニューアルを行い、サービスクオリティを向上させ、サービス名称とロゴも改め、更なる会員数と収益の拡大を目指しております。

また、2015年3月9日開催の取締役会において、Jトラストベンチャーキャピタル合同会社に対し第三者割当の方法により、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第6回新株予約権証券の発行を決議しました。2015年3月25日付で新株予約権の総数及び新株予約権付社債の総額の引受契約を締結いたします。

当社グループでは、2015年度を再建期と位置付けて、再構築した経営基盤を最大限活用し、事業再成長及び企業価値向上を目指して参ります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2015年3月

代表取締役社長 假屋 勝

2014年12月期のトピックス

1

“リストラクチャリング”の完了

海外事業の完全撤退を行い、国内事業に回帰集中する事により、ビジネス構造と財務体質の改善を実行。

2

“新経営体制”への移行完了

事業拡張性を高めるべく、持株会社と事業会社とに分離。
経営陣の増強と、東京への本社移転を行い、事業推進効率性を高める。

3

“株式会社デジタリオ”の子会社化完了

クラウド及びITソリューション事業を手掛ける「株式会社デジタリオ」を子会社化。新サービスの開発運営を促進する。

海外事業の完全撤退と国内事業への回帰集中

徹底した合理化を図り、ビジネス構造の基盤を改善

【海外拠点数推移】

2013年12月末時点
子会社：9
支店：2



2014年12月末時点
子会社：0
支店：0

【国内サービス数推移】

2013年12月末時点
6サイト



2014年12月末時点
1サイトへ
統合し**合理化**

【海外サービス数推移】

2013年12月末時点
キャリア：14
その他：26



2014年12月末時点
キャリア：0
その他：0

【配信システム】

2013年12月末時点
自社独自開発



2014年12月末時点
協業パートナー
システムへ移管
して**効率化**

【従業員数推移】

2013年12月末時点
98名
※うち、海外30名



2014年12月末時点
6名
※うち、海外0名

【閲覧ビューワー】

2013年12月末時点
自社独自開発



2014年12月末時点
大手ベンダー
ビューワーを導入して**利便化**

持株会社と事業会社への分離

事業拡張性を高め、機動的に新規事業及びM&A等を実行



株式会社デジタルリオを100%子会社化

クラウド及びITを活用した新サービス展開等を促進

クライアント様

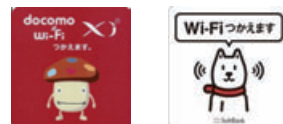


① フィールドサービス事業

② 通信メディア事業

③ ビジネスソリューション事業

株式会社デジタルリオ



DIGITALIO

×

For-side book

グループシナジー戦略プラン

- ①クラウドソリューションを活用した、電子書籍サービス機能拡充。
- ②WiFi設置チェーン店舗等向け、デジタルコンテンツサービス展開。
- ③電子書籍バンドル型、スマートフォンデバイス販売展開…等々。

事業拡張性の高い企業形態を活用し業容拡大

2014年再生・2015年再建・2016年再成長を着実に実行

2016

=再成長=

2015

インターネット

スマートフォン

ビジネス市場で

更なる業容拡大

=再建期=

- 電子書籍事業の拡大
- 株式会社デジタルリオ事業の拡大
- 株式会社フォーサイドペイメントゲートウェイ事業拡大
- 事業会社間協業の拡大
- 新規事業の立ち上げ
- 新規協業の促進
- 新規M&A等検討

2014

=再生期=

- リストラクチャリング
- 電子書籍事業構造改善
- 企業形態及び経営体制再編
- 株式会社デジタルリオの子会社化

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (2014年12月31日現在)	前連結会計年度 (2013年12月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	522,445	1,488,720
現金及び預金	285,661	1,317,851
売掛金	166,725	321,284
短期貸付金	42,211	87,319
未収消費税等	34,598	47,188
その他	15,659	11,724
貸倒引当金	△22,411	△296,647
固定資産	218,964	25,555
有形固定資産	410	0
無形固定資産	193,498	0
のれん	193,498	—
その他	0	0
投資その他の資産	25,055	25,555
敷金	15,789	9,719
長期貸付金	9,265	—
その他	860	15,835
貸倒引当金	△860	—
資産合計	741,409	1,514,275

科 目	当連結会計年度 (2014年12月31日現在)	前連結会計年度 (2013年12月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	229,791	233,395
買掛金	60,483	57,065
未払金	114,423	106,052
未払費用	24,724	323
リース債務	1,971	3,843
未払法人税等	585	12,201
1年内返済予定の長期借入金	6,378	—
契約解除損失引当金	—	44,338
事業整理損失引当金	9,670	—
その他	11,554	9,571
固定負債	12,408	1,756
長期借入金	12,408	—
リース債務	—	1,756
負債合計	242,199	235,151
(純資産の部)		
株主資本	487,314	1,271,604
資本金	100,000	4,141,876
資本剰余金	1,198,514	3,104,327
利益剰余金	△809,969	△5,974,600
自己株式	△1,230	—
その他の包括利益累計額	11,599	7,191
為替換算調整勘定	11,599	7,191
少数株主持分	295	327
純資産合計	499,209	1,279,124
負債純資産合計	741,409	1,514,275

■ 連結財政状況

当連結会計年度末における純資産は前連結会計年度末に比べて779,914千円減少し499,209千円となりました。主な要因と致しましては、当期純損失の計上によるものであります。

連結財務諸表

● 連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当連結会計年度 (2014年 1月 1日から 2014年12月31日まで)	前連結会計年度 (2013年 1月 1日から 2013年12月31日まで)
売上高	483,497	461,584
売上原価	211,312	444,704
売上総利益	272,184	16,880
販売費及び一般管理費	982,727	1,440,736
営業損失（△）	△710,543	△1,423,856
営業外収益	23,106	105,045
営業外費用	4,387	38,438
経常損失（△）	△691,824	△1,357,249
特別利益	51	—
特別損失	89,966	840,055
税金等調整前当期純損失（△）	△781,739	△2,197,305
法人税、住民税及び事業税	1,396	4,962
少数株主損益調整前当期純損失（△）	△783,135	△2,202,268
少数株主損失（△）	△75	△82
当期純損失（△）	△783,059	△2,202,186

● 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当連結会計年度 (2014年 1月 1日から 2014年12月31日まで)	前連結会計年度 (2013年 1月 1日から 2013年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△816,346	△1,327,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,978	△316,466
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,544	△4,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,678	64,949
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,032,190	△1,583,508
現金及び現金同等物の期首残高	1,317,851	2,901,360
現金及び現金同等物の期末残高	285,661	1,317,851

■ 連結損益状況

コンテンツ事業では不採算である海外エリアからの撤退を決定し、国内事業に注力致しました。売上高は442,362千円（前期比27.9%増）、セグメント損失は502,138千円（前期はセグメント損失1,188,921千円）となりました。その他の事業では、2014年12月に連結子会社化した株式会社デジタルリオのクラウド及びITソリューションの他、従来からの請求収納代行業務の取次、金融商品の売買を中心に事業展開いたしました。この結果、売上高は41,135千円（前期比64.4%減）、セグメント損失は23,423千円（前期はセグメント利益35,816千円）となりました。

● 連結株主資本等変動計算書（要旨）

当連結会計年度（2014年1月1日から2014年12月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	4,141,876	3,104,327	△5,974,600	—	1,271,604	7,191	7,191	327	1,279,124
当期変動額									
減資	△4,041,876	4,041,876							
欠損填補		△5,947,690	5,947,690						
当期純損失（△）			△783,059		△783,059				△783,059
自己株式の取得				△1,230	△1,230				△1,230
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						4,408	4,408	△32	4,375
当期変動額合計	△4,041,876	△1,905,813	5,164,631	△1,230	△784,289	4,408	4,408	△32	△779,914
当期末残高	100,000	1,198,514	△809,969	△1,230	487,314	11,599	11,599	295	499,209

会社概要

商 号 株式会社SmartEBook.com
本店所在地 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号
設 立 2000年3月31日
資 本 金 100,000千円
代 表 者 代表取締役 假屋 勝
従 業 員 数 56名（他、臨時従業員8名）
事 業 内 容 コンテンツ事業、その他事業

●株式会社フォーサイドブック
<http://www.forsidebook.com/>
<http://s.mobi-book.com/>



●株式会社デジタルリオ
<http://www.digitalio.co.jp/>



●株式会社フォーサイドペイメントゲートウェイ
<http://www.forside-pg.co.jp/>



株式の状況

発行可能株式総数 62,380,000株
発行済株式の総数 21,942,700株
株主数 34,227名
※2014年12月31日現在

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 3月
基準日 12月31日
公告の方法 電子広告
URL <http://www.smartebook.com/>

※ただし、やむを得ない事由により
電子公告する事ができない場合は、
日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話：0120-782-031（フリーダイヤル）